

平成 29 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社 オプトホールディング
代 表 者 名 代表取締役社長 鉢 嶺 登
(コード番号 2389 東証第一部)
役 職 ・ 氏 名 取 締 役 石 橋 宜 忠
電 話 0 3 - 5 7 4 5 - 3 6 1 1

業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 28 年 7 月 29 日「平成 28 年 12 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表しました、当社平成 28 年 12 月期の連結業績予想(平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 12 月期(平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日) 連結業績予想数値と実績値との差異について

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 連結当期純利益(円)
前回発表予想 (A)	67,000	1,800	1,300	500	19.35
今回実績値 (B)	69,815	1,919	2,004	745	28.81
増減額 (B) — (A)	+2,815	+119	+704	+245	
増減率 (%)	+4.2%	+6.6%	+54.2%	+49.1%	
(ご参考) 前期実績	64,052	1,620	1,191	267	10.34

2. 差異が生じた理由

当社の主要事業であるマーケティング事業において、平成 28 年度から本格的に新規顧客開拓強化に取り組み、首都圏の大口顧客の新規開拓や地方・政令都市の中小企業の新規顧客開拓を推進し、日本全国の顧客のインターネット広告販売促進・支援を推進して参りました。また、グループ全体で取り組んだ新規商材開発においても、収益性の改善に向けた取り組みを実施して参りました。これらの取り組みが少しずつ功を奏し、売上高・営業利益において前回発表予想を上回る結果となりました。

また、経常利益においては、保有する投資事業組合運用益ファンドの運用益が想定以上に発生したことおよび持分法適用会社においても想定以上の利益発生等により前回発表予想を大きく上回る結果となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益においても、投資有価証券の評価損が発生したものの、売上高・営業利益・経常利益が想定以上に好調に推移したため、前回発表予想を大きく上回る結果となり、業績予想値との差異が生じました。

以上